

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	赤十字・献血促進事業			事業番号	007-007
担当部署名	市民人権	局	市民生活	部	市民協働 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
		取組	有	健康寿命延伸に資するサービスの社会実装			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	昭和 47 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区役所				
6	事業の対象	献血可能な基準を満たす市民（男性:17～69歳 女性:18歳～69歳 体重50kg以上） ※65歳以上は60～64歳の間で献血経験があることが条件	対象数	単位		
			-	-		
7	事業の目的	輸血血液の計画的な確保、献血思想の普及及びその推進を図る。				
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な血液製剤の安定供給の確保及び市民の献血への理解と献血推進を図るため、大阪府赤十字血液センターが市内で行う献血に協力する堺市献血推進協議会（校区自治連合会を中心とした市民で構成）に対し、補助金を交付。 ・献血促進に向けた各種広報を実施。 ・高校生を対象とした献血セミナーの受講を契機に献血へ繋げるため、受講した高校生が献血をした際に啓発物品を贈呈するキャンペーンを実施。 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—				
9	主な支出先	堺市献血推進協議会				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
11	堺市献血推進協議会が協力する市内献血における献血者数	人	目標値	-	2,203	2,203	2,203
			実績値	2,203	2,087		
			達成率	—	95%		
	当該指標を選定した理由	輸血血液の確保を図る指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値＝過去の実績（R1年度以降）の最大値（※実績値を踏まえ、R6年度に目標値を見直し）					
12	献血実施回数	回	目標値	-	-	52	
			実績値	52	51		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	献血実施回数を増やし献血の機会を設けることで、献血協力者数の増加につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値＝過去の実績（R1年度以降）の最大値（※実績値を踏まえ、R6年度に目標値を見直し）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	赤十字・献血促進事業	事業番号	007-007
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）			
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	450	450	450	450	450
13 財 源 内 訳	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0
	一般財源	450	450	450	450
14 人件費 (b)	4,100	5,670	5,670	5,670	6,720
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	4,550	6,120	6,120	6,120	7,170

事業費の内訳		（単位：千円）							
項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源	
					R6	決算			
16 事 業 費 内 訳	堺市献血推進協議会事業補助金	R6	決算	450	450		R6	決算	
		R7	予算	450	450		R7	予算	
		R6	決算				R6	決算	
		R7	予算				R7	予算	
		R6	決算				R6	決算	
		R7	予算				R7	予算	
		R6	決算				R6	決算	
		R7	予算				R7	予算	
		R6	決算				R6	決算	
		R7	予算				R7	予算	
		R6	決算				R6	決算	
		R7	予算				R7	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	地域献血における献血協力者	人	2,203	2,087
	②	上記①にかかる年間経費	千円	903	894
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	410	428
算出についての説明等		② = (地域献血回数×1人×時間単価×2時間) + 補助金			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費や補助金額に変動はなかったが、地域献血回数が前年度よりも少なかったため年間経費が減少した。 ・地域献血回数の減少により献血者数も減少したことから、結果として単位当たり経費が微増となった。 ・当該事業は、病気の治療や手術などで輸血を必要としている方へ医療機関を通じて安定的に血液等を届けるために必要なものであり、過年度と比較しても単位当たり経費が大きく変動していないことから、事業の有効性は高いと考える。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>赤十字・献血促進事業が対象とする献血事業は、SDGsの取組である「健康寿命延伸に資するサービスの社会実装（ターゲット3.8）」に関する施策の一つに位置付けられており、若年層をはじめとする多くの市民に対して、大阪府赤十字血液センターや校区自治連合会等と連携し、献血の啓発・周知活動を推進することで、献血者の確保や市民の健康寿命延伸に貢献する取組となっている。</p>